

平成 24 年度 5 月 14 日

土橋自然観察教育林 森林展示館改装 企画案

教育林コーディネーター 水本 絵夢

1.はじめに

森林展示館は、様々な人の「情報交換の場」であり、入林者の受付、注意事項の周知、森の情報提供などの機能を有する場である。この情報収集・発信の役割については、教育林の「自然の保護」と「教育」の基本理念に則ったものであることを前提とする。

2.目的

教育林の利用者が入林前後に短時間で教育林の歴史的・自然的価値を学べるよう、また管理者側からの一方的な情報の提供だけではなく、利用者を含めた双方向交流の場にも成り得るよう、展示館内を改装する。

3.基本的な方向性

◎既存の写真・解説パネルを含め、展示物とその情報のテーマや利用方法に応じて分類し、利用者がわかりやすく歴史的・自然的価値を学ぶ場を設ける。(特に歴史や地質、植生の分野は解説が不十分なため充実させる。)

◎管理者が一方的に情報を提供するだけではなく、利用者を含めた双方間の情報交換の場にする。

◎可能な範囲で、展示物の内容を季節に応じて変化させ、情報の鮮度を維持し、時期に応じてより適切な情報を提供できるようにする。

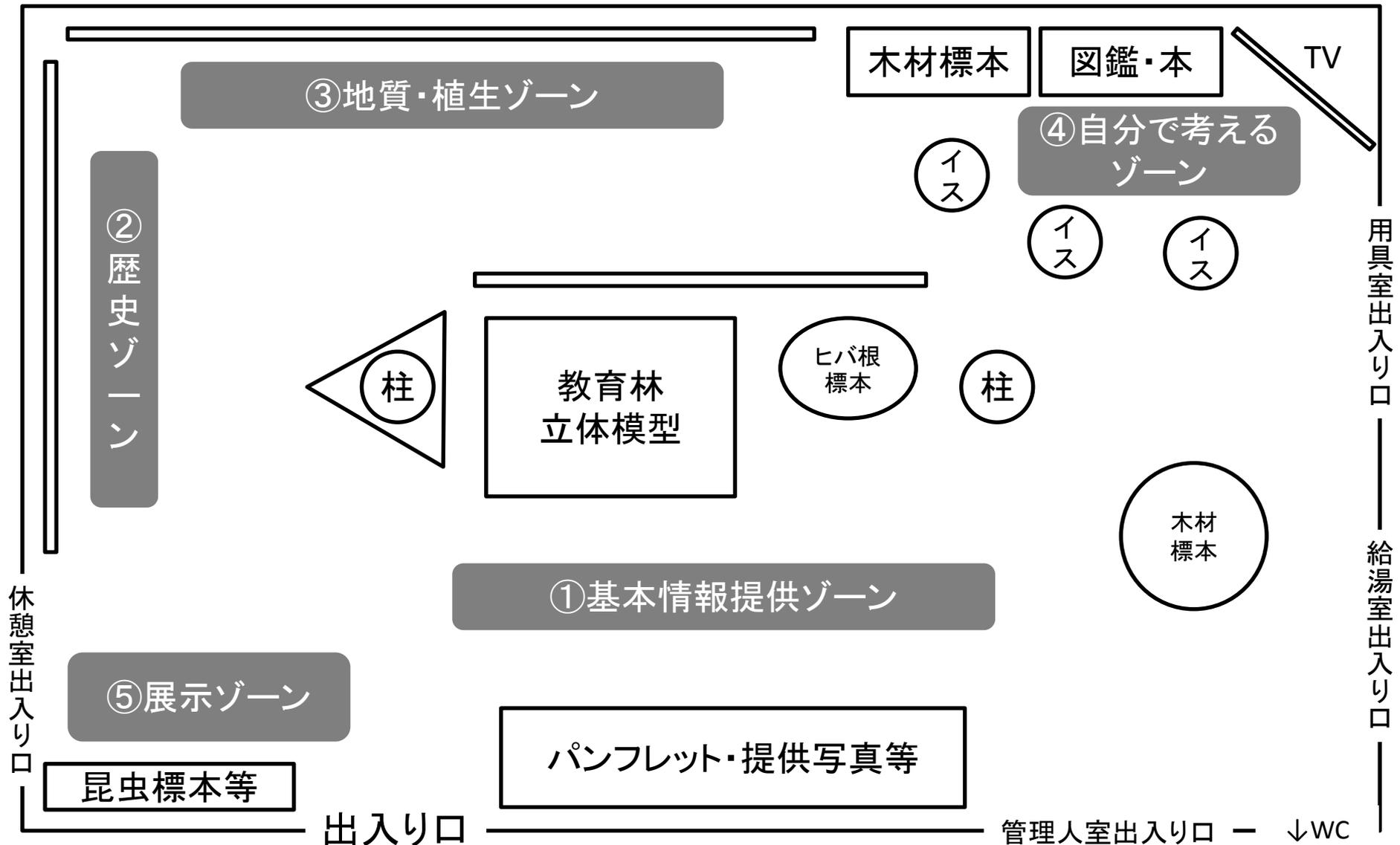
◎利用マナーの呼びかけや、希少植物情報は開示しないなど、教育林の基本理念は徹底する。

(◎展示物作成に関して、なるべく町民参加を促したい。)

4.企画内容

展示内容をその情報のテーマや利用方法によって大きく 5 つにゾーン分けした。別紙の展示レイアウト案を参照のほど。

土橋自然観察教育林 森林展示館 展示レイアウト案



①基本情報提供ゾーン
(出入り口横)

← 管理人室 出入り口

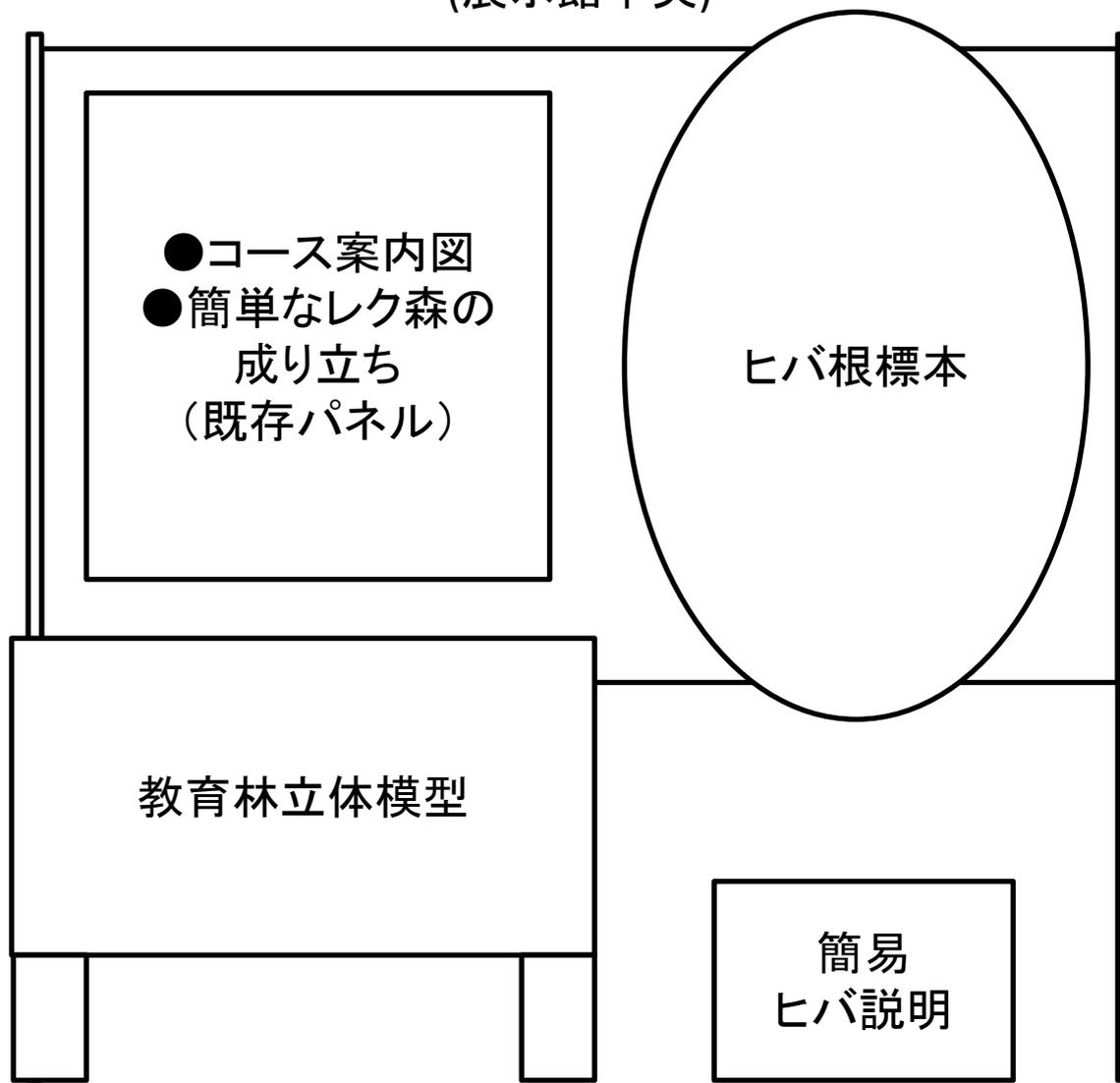
→ 展示館 出入り口

- 観察会・講演会の案内や報告、写真
- 入山者から提供された林内の写真

林内情報かわら版

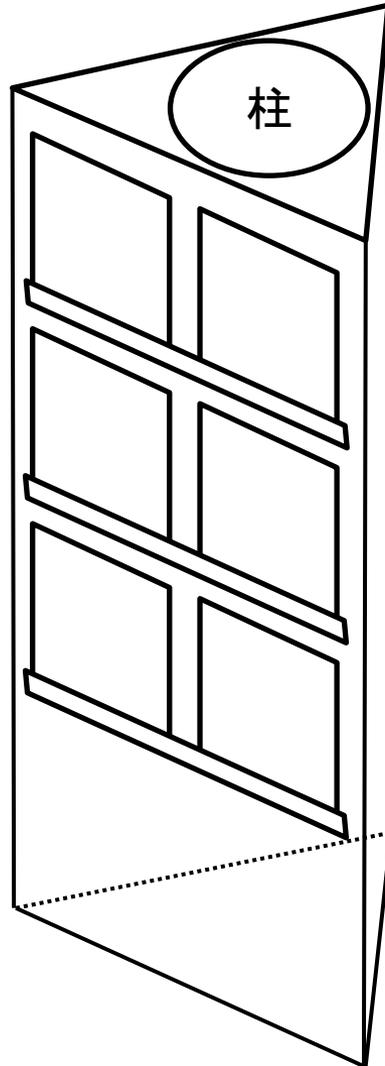
パンフレット等

①基本情報提供ゾーン
(展示館中央)

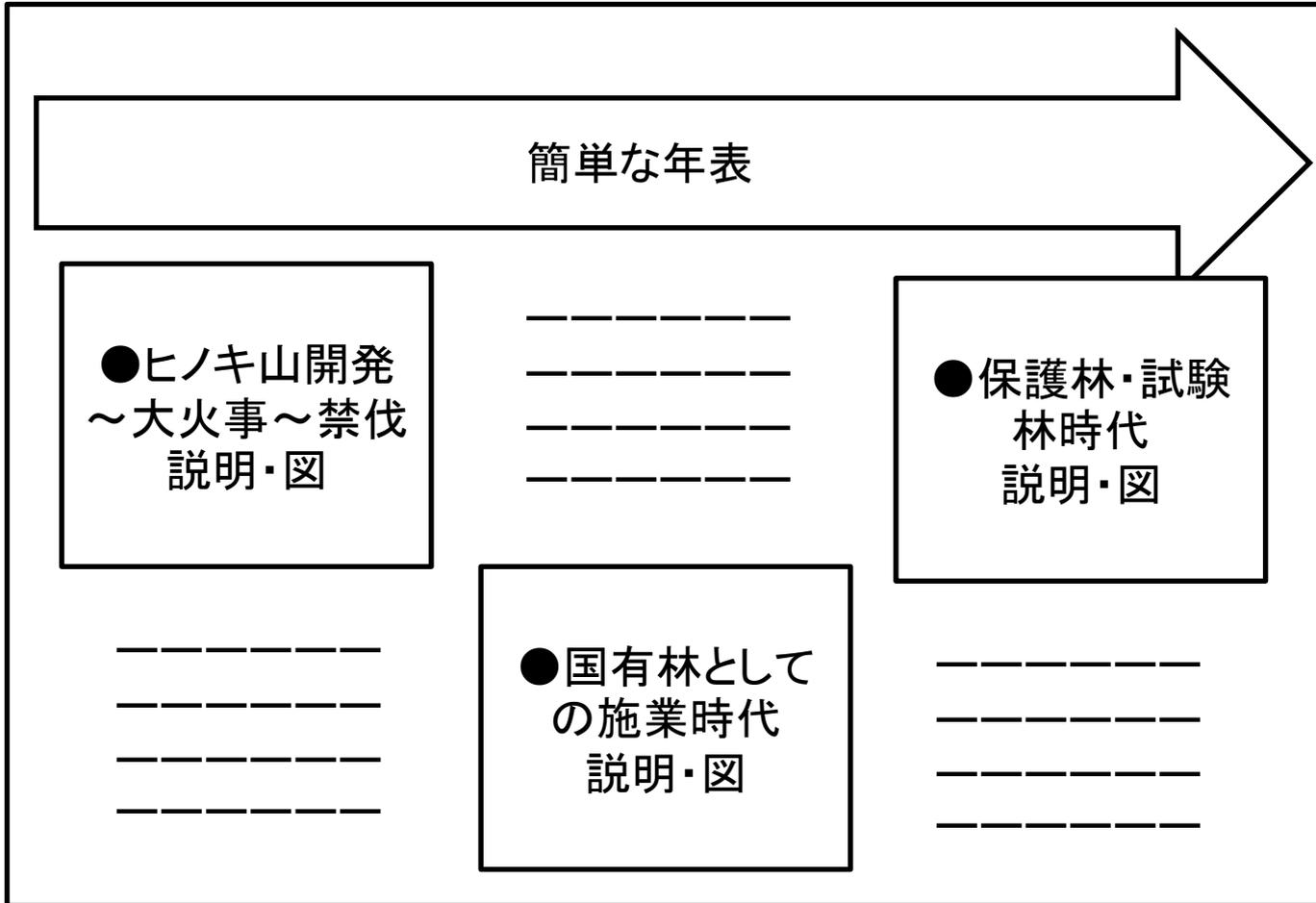


①基本情報提供ゾーン
(三角パネル)

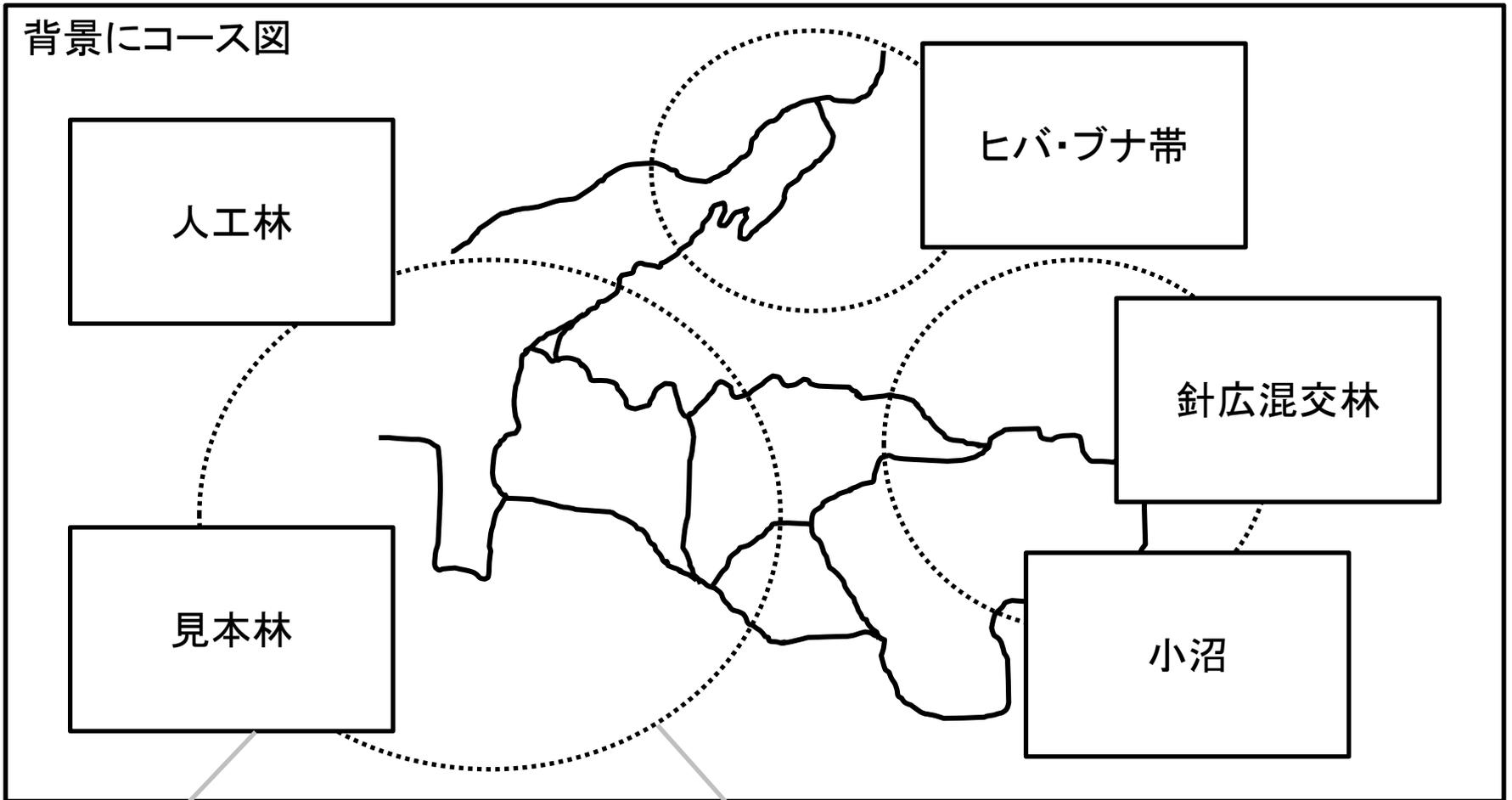
●観察できる植物・
昆虫・鳥・動物の写
真パネルを展示。
季節ごとに入れ替え
られるよう、レール
等を取り付ける。



②歴史ゾーン



③地質・植生ゾーン

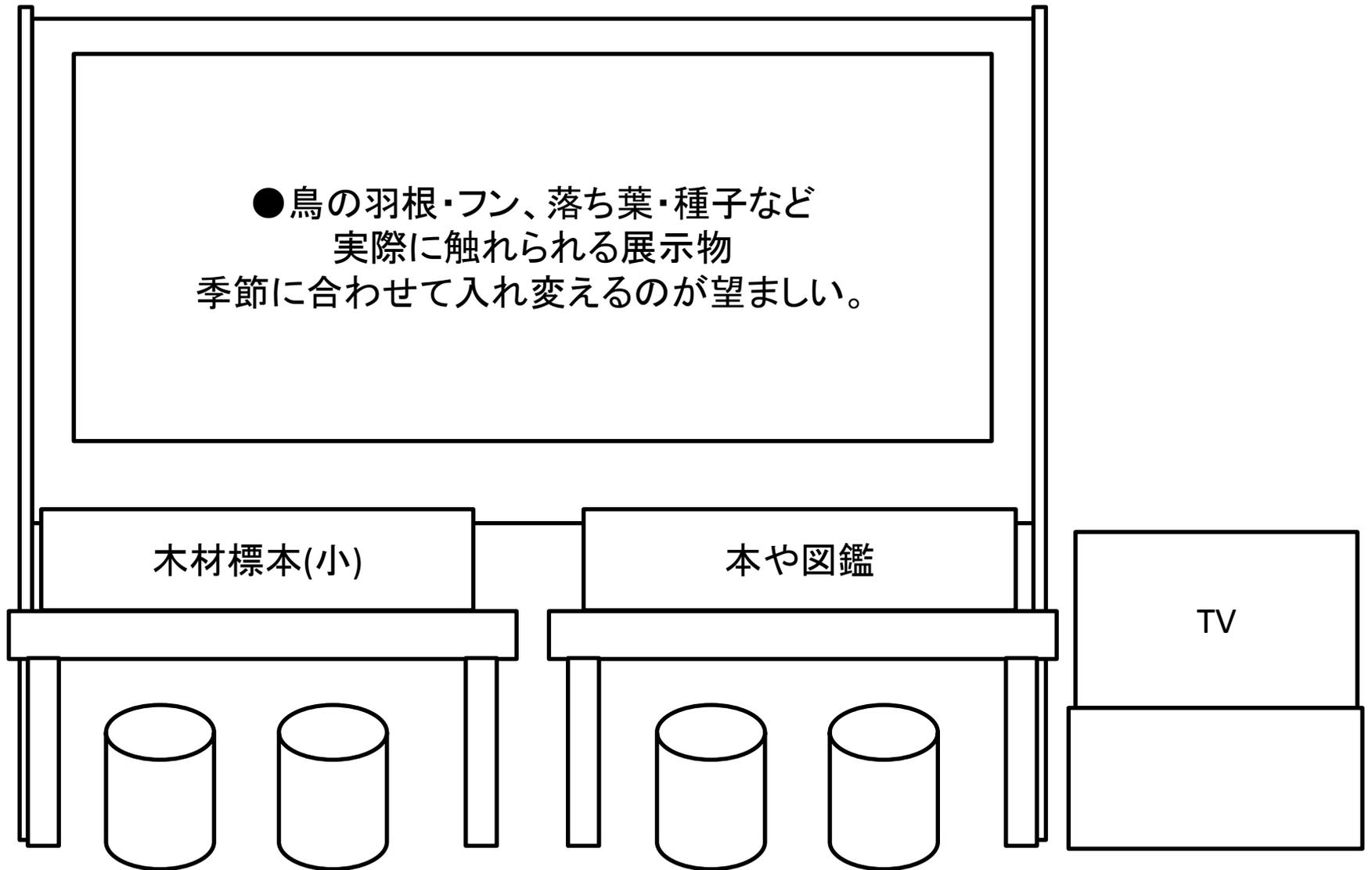


植生や特殊環境
の説明・写真

地質分布域

※手前に地質・岩石サン
プルなどあればよい

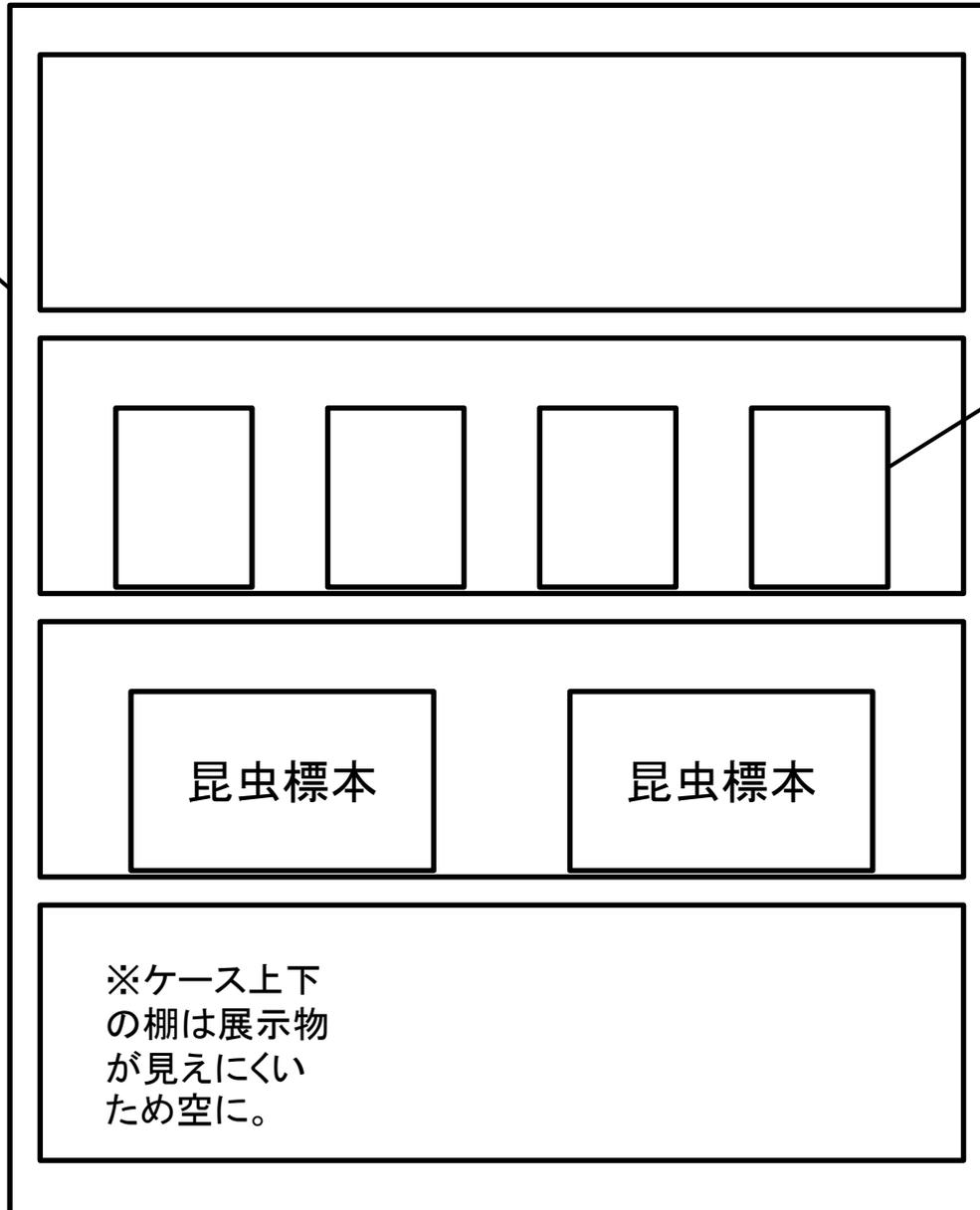
④自分で考えるゾーン



※TVは設置するのであれば有効活用したい。

⑤展示ゾーン

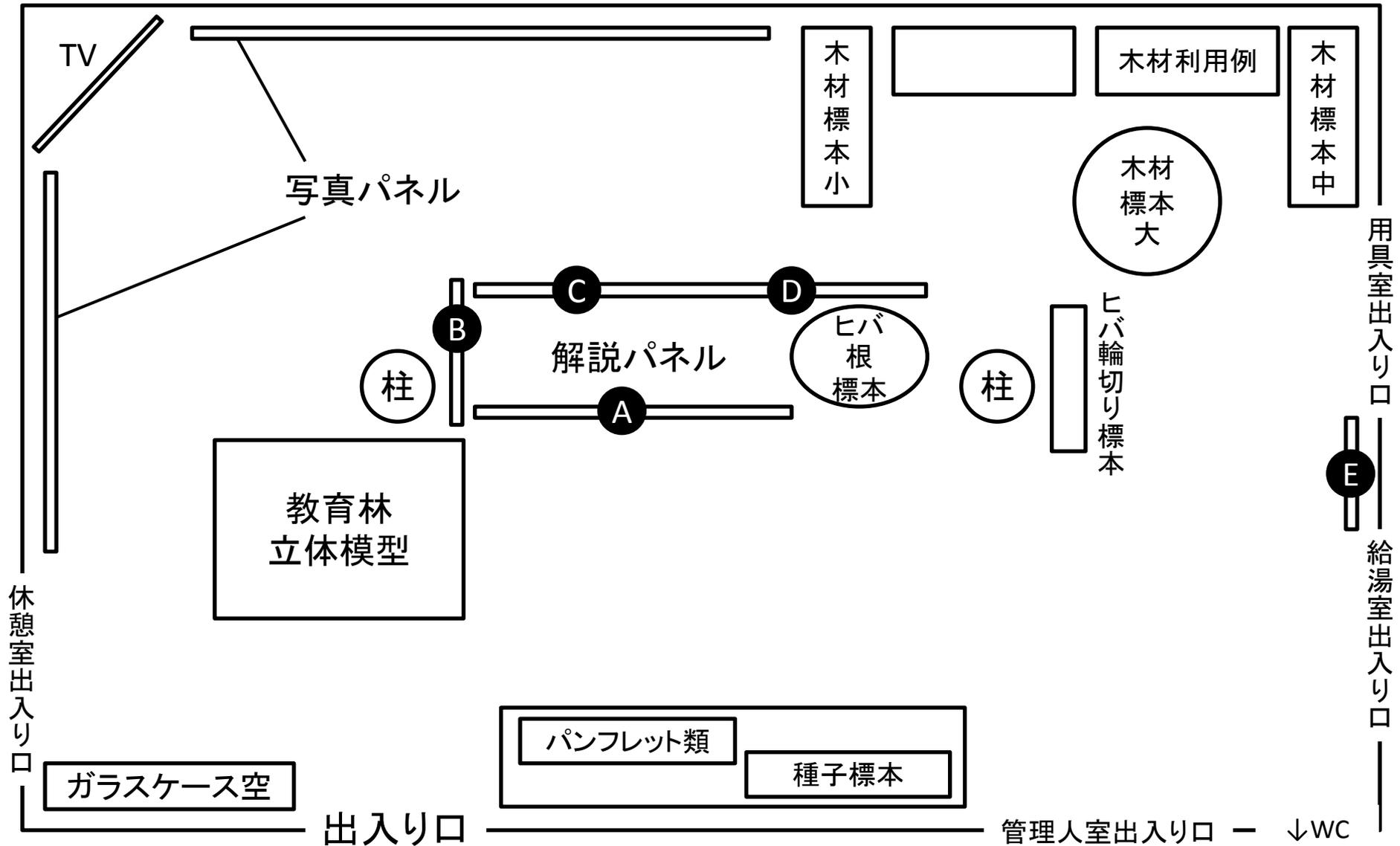
既存の
ガラスケース



クラフト体験
などで作った
作品

※ケース上下
の棚は展示物
が見えにくい
ため空に。

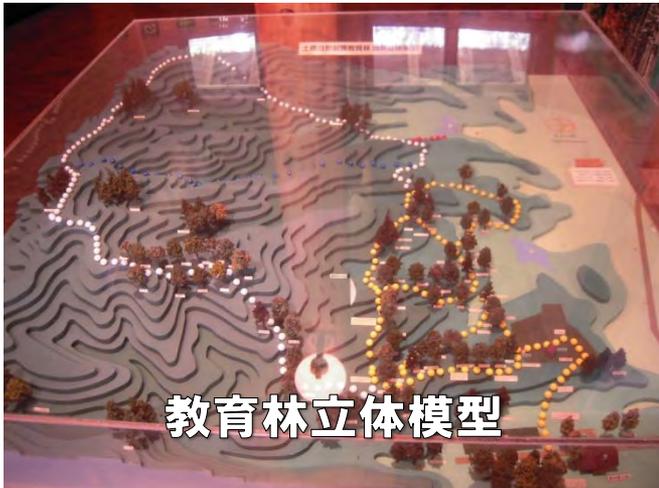
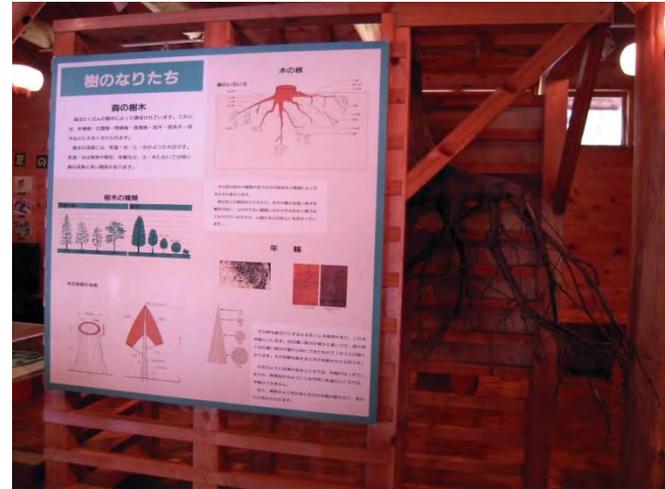
参考:土橋自然観察教育林 森林展示館 現在の配置図



土橋自然観察教育林 森林展示館 現在の内装・物品
出入口側



土橋自然観察教育林 森林展示館 現在の内装・物品 展示館中央



土橋自然観察教育林 森林展示館 現在の内装・物品
休憩室入口横



土橋自然観察教育林 森林展示館 現在の内装・物品
用具室左横



木材標本中



木材標本大



木材標本
小



木材利用例

土橋自然観察教育林 森林展示館 現在の内装・物品
用具室右横



①基本情報提供ゾーン

人の出入りが頻繁であるこの場所では比較的鮮度の高い、教育林のリアルな情報を提供する。

《出入口口横》

- ・パンフレット等…現在提供しているもの。
- ・林内情報かわら版…例えば現在観察できるスマレの見分け方や、スズメバチなど危険生物の情報など、教育林内の豆知識や注意情報を時期に応じて提供する。2穴リングでとじたA4ラミネート冊子を構想している。随時追加し、シーズンが過ぎればページごと下げる。
- ・写真等情報掲示板…観察会や講演会の案内や報告、写真を掲示する。また林内で利用者が撮影した写真を掲示するなどの交流がもてるとよい。

《展示館中央》

- ・コース案内図と概要：既存の解説パネルCと既存の教育林模型。
- ・ヒバ根標本&ヒバ輪切り標本：既存の標本。
- ・簡易ヒバ説明：新たに作成。教育林の代表的な樹種であるヒノキアスナロについての解説。やや根が深根性であることや、年輪が詰まっていることなど既存の標本に合わせた解説が含まれることが望ましい。

《三角パネルについて》

柱周りのスペースを有効利用した形にしている。現在は春～冬の生き物のパネルを同時に掲示している状態だが、季節ごとに入れ替えられるよう簡単なレールなどを取り付ける。写真パネルは既存のものと、新たにいくつか（特に鳥類・哺乳類）を追加していきたい。
※写真は教育林で既に活動されている方から提供していただけると良い。

②歴史ゾーン

現在の教育林成立までの歴史を簡単な年表と図説により解説する。歴史については大きく、

- | |
|---------------------|
| 一.ヒノキ山開発～山火事～禁伐時代 |
| 二.国有林として施業が行われていた時代 |
| 三.保護林・試験林時代 |

の三つに分けて解説する（平成18年レクの森管理計画策定委員会 報告書参考）。図に関しては歴史写真、もしくは町民の絵などが望ましい。

③地質・植生ゾーン

コース図を背景に、地質・植生の分布を図示する。地質に関しては手前に台を配置し、岩石サンプルと簡単な解説パネルを展示する。壁パネルにはいくつかジャンル分けした植生を写真と字パネルで解説する。図では素人目にもわかる範囲で大まかに植生(環境)を5つに分類した例である。

④自分で考えるゾーン

実際に利用者が触れて考えたり感じたりする場所である(ハンズオン展示：触れる事により学習を促す展示)。より子供向けの情報提供の場である。

- ・木材標本小…既存の標本。ラベルは張り替える。
- ・本や図鑑…一通りの図鑑をそろえる。昆虫の図鑑は前任の野村氏のデータを利用して厚沢部町の昆虫として作成できないかと考えている。自然関係の絵本など、利用者の滞在時間を考えて簡単なものを用意したい。
- ・ハンズオン展示物の掲示板…鳥の羽やフン、落ち葉や種子、虫の抜け殻など自然の損失を伴わない範囲で採取できる、触れられるもの。季節に応じたものを用意できると良いが…
- ・TV…設置するのであれば自然関係のビデオなどを適時流す。しかし、個人的にはなくてもよいと思っている。その場合は休憩室に移動する。

※イスについて

設置を想定しているイスは新たに製作してもよいが、木材標本大と中を利用できないかと考えている。樹種名はイスのどこかに表示しておく。木材は標本として見て触るより、実際に利用することでより身近に感じられ、その利用価値についても学習できると思われる。歴史や価値のあるものであれば、このまま展示物として利用する。

⑤展示ゾーン

既存の緑のガラスケースを利用する。野村氏の昆虫標本を中心にクラフト体験等で制作した作品を展示する。ケース最上下部は展示物が見えにくいと想定される事から空にしてある。

※既存の解説パネルについて

汚れたパネル (E) は内容は文章でも説明できるものであると思われるが、必要ならば再制作した方がよい。森林アクティビティの方法のパネル (D) は利用者のニーズと合っていないと思われるので下げたい。樹木や森林の仕組みパネル (B,D) は中央展示の後ろ側か、給湯室・用具室間の壁に展示してもよい。

5.展示レイアウト案

別紙を参照のこと。

平成 24 年度 5 月 21 日

樹名板設置事業 確認事項

1. 設置予定木確認

別紙 1, 2 参照

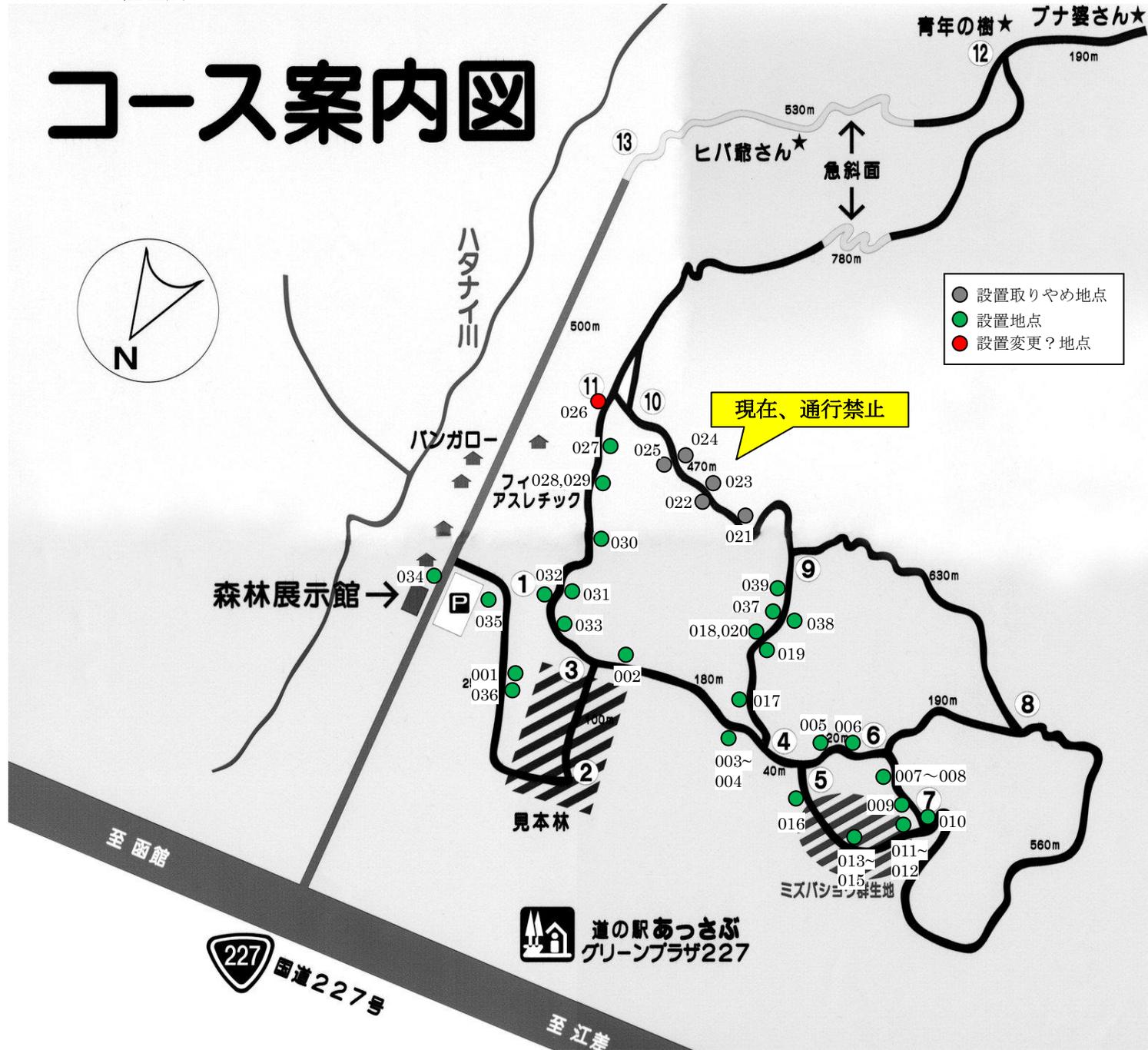
2. 変更点等

- ・遊歩道のコース⑨-⑩は斜面崩壊のため現在通行禁止にしてあり、今後も利用しない方向で進めている。よって選定された 021-025 の樹木については樹名板を設置しない。021-025 の樹種について別箇所新たに樹木を選定した方がよいか？
- ・026 ヤマグワについて、樹勢が弱っているように感じられたため、別箇所新たにヤマグワを選定した方がよいか？

3. 今後の流れ

樹名板の作成・スプリングの用意は野村氏が既に行っているため、確認が取れた設置予定木から順に設置を始める。7～8月には設置を完了したい。

コース案内図



別紙2. 樹名板設置樹木ナンバリング表

No.	樹木名	設置場所	備考
1	ハウチワカエデ	①-②	低木
2	エゾヤマザクラ	③-④	高木、根元からの萌芽あり
3	ヒノキアスナロ		亜高木
4	イチイ		亜高木、二股の枝のうち一つは枯れ
5	ノリウツギ	⑤-⑥	低木
6	カンボク		低木
7	シウリザクラ	⑥-⑦	低木
8	ミズキ		低木
9	トドマツ		低木
10	ハウチワカエデ		亜高木、根元からの萌芽あり
11	ツリバナ	⑦-⑤	低木
12	ミズナラ		亜高木
13	ハンノキ		高木
14	ウワミズザクラ		低木
15	ヤチダモ		低木
16	キタコブシ		亜高木
17	イチイ	④-⑨	亜高木
18	ヤマモミジ		低木
19	ハウチワカエデ		低木
20	アカイタヤ		亜高木
21	オオバクロモジ	⑨-⑩	
22	ナナカマド		
23	シウリザクラ		
24	オオカメノキ		
25	ハルニレ		
26	ヤマグワ	⑪-③	亜高木、やや樹勢弱り気味か
27	オオカメノキ		低木
28	オオバクロモジ		低木
29	ムラサキシキブ		低木
30	アオダモ		亜高木
31	ウリノキ		低木
32	トチノキ		亜高木
33	ヤマモミジ		高木
34	アズキナシ	森林展示館横	亜高木
35	ドイツトウヒ	駐車場横	高木
36	ヤマモミジ	①-②	低木
37	キタコブシ	④-⑨	亜高木
38	キブシ		低木
39	ヒノキアスナロ		高木

別紙3. 026 ヤマグワ

